

日 薬 業 発 第 339 号
平成 30 年 12 月 11 日

都道府県薬剤師会 会長 殿

日 本 薬 剤 師 会
会長 山本 信夫

「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」への協力依頼について
(お願い)

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」について、東京薬科大学薬学部 北垣邦彦教授より協力依頼がありました(別添1)。

本調査は、保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供の状況を把握すると共に、医療費の適正化への貢献について明らかにすることを目的としており、一週間で行った疑義照会及び情報提供について Web ページ上で回答いただきたくものとなっています(下記)。

つきましては、保険薬局の開設者ならびに管理者への依頼状及び実施概要等をお送りいたします(別添2、別添3①～③)。

業務ご繁多の折誠に恐れ入りますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 別添 1. 日本薬剤師会宛て依頼状(「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」への協力依頼について)
2. 保険薬局の開設者ならびに管理薬剤師宛て依頼状(「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」への協力依頼について)
3. ①実施概要(「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」について)
- ②薬局掲示用ポスター(「疑義照会調査 患者 IC ポスター」)
- ③WEB 回答の記入例

記

1. 調査名 保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査
2. 回答内容 平成 30 年 12 月 12 日(水)～平成 31 年 1 月 31 日(木)のうち、薬局任意の一週間における疑義照会及び情報提供の状況
- ・管理薬剤師：薬局情報
 - ・勤務薬剤師：疑義照会、情報提供の状況
3. 回答 URL Web ページ上での入力(<https://secure.nippon-pa.org/drugprice/>)
4. 実施者 東京薬科大学 薬学部 社会薬学研究室 教授 北垣邦彦
5. 協力 公益社団法人 日本薬剤師会、一般社団法人 日本保険薬局協会

以上



平成30年11月29日

公益社団法人日本薬剤師会
山本 信夫 会長 殿

東京薬科大学 薬学部 社会薬学研究室
教授 北垣邦彦



「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」への
協力依頼について

拝啓

時下、ご清栄の事とお慶び申し上げます。

さて、近年、医薬分業の進展に伴い保険薬局及び保険薬局に勤務する薬剤師の数が急激に増えています。医薬分業に対する厚生労働省の基本的な考え方として2015年に示された「患者のための薬局ビジョン」では、薬局には患者の薬物療法の安全性・有効性の向上及び医療費の適正化につながる多剤・重複投薬の防止や残薬解消が求められています。その実現には、患者の服薬情報の一元的・継続的な把握と薬学的管理・指導の実施が必要であり、患者はどの医療機関を受診しても、身近なところにあるかかりつけ薬局に行くことが想定されています。以上のような患者本位の医薬分業の実現に向けて既に多くの保険薬局では様々な取組がなされており、保険薬局薬剤師の業務は多岐に渡り、多忙を極めています。

しかしながら、国民には保険薬局における薬剤師の業務内容は見えにくく、厚生労働省中央社会保険医療協議会（中央社会保険医療協議会総会）や内閣府規制改革会議においても医薬分業の意義を疑う声が上がっています。これは、医薬分業における薬局による患者の薬物療法の安全性・有効性の向上及び医療費の適正化への貢献が十分周知されていない結果であると考えられます。

そこで、東京薬科大学では、患者の薬物療法の安全性・有効性の向上に最も寄与し、医薬分業の中核をなす保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供の状況を把握すると共に医療費の適正化への貢献について明らかにしていきたいと考えています。同様の調査としては、公益社団法人日本薬剤師会委託事業として東京理科大学薬学部が平成27年度に実施し、平成28年度に報告した調査があります。

この調査は、Web上に調査票を示し、協力していただける薬局の状況の登録をお願いして実施いたします。その理由として無作為抽出により調査対象薬局を限定し、質問紙を送付・回収する方法を採ることにより、回収率が悪くなり、それにより回答者バイアスが大きくなることが懸念されたためです。一方、薬局の参加を自由にするにより参加バイアスが大きくなる可能性は否定できませんが、調査母数を大きくできる可能性が高くなると考えています。また、本調査では、薬局や薬剤師と疑義照会及び情報提供の状況の関連について検討を予定しており、調査母数を大きくなることにより多様性の評価が可能となると考えています。なお、各薬局で

登録した情報は、東京薬科大学以外の Web 管理者により取りまとめられ、解析を実施する東京薬科大学では各薬局、薬剤師及び患者情報は特定できなくなっています。また、各薬局においては、調査期間中に調査対象となっていることを示す掲示をお願いしますが、その内容は患者に薬を渡すまでに時間がかかることがあることの理解を促す内容も入れてあります。

本調査は、先行研究の調査結果を確認する意味のみでなく、情報提供の状況や薬剤師の特性を把握するなど新たな視点を加えた調査研究ではあります。しかし、同様の調査であっても経年的かつ異なった研究機関で実施されることは、結果の信頼性を高めるためには必要であると考えます。したがって、本調査の結果が中央社会保険医療協議会において医薬分業における薬局による患者の薬物療法の安全性・有効性の向上及び医療費の適正化への貢献を示す一助になることも大きな目的であります。

本調査の結果は、来年度中には薬剤師関連学会において報告すると共に速やかに公益社団法人日本薬剤師会及び一般社団法人日本保険薬局協会に送らせていただきます。

つきましては、本調査が円滑に実施できますよう、御取り計らいの程、宜しくお願い申し上げます。

何とぞ、ご厚情とご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成30年12月吉日

保険薬局 開設者様
管理薬剤師様

東京薬科大学 薬学部 社会薬学研究室
教授 北垣邦彦

「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」への 協力依頼について

拝啓

時下、ご清栄の事とお慶び申し上げます。

さて、この度、東京薬科大学薬学部社会薬学研究室では、公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人日本保険薬局協会のご協力を得て、全国の保険薬局を対象として「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」を実施いたします。

本調査は、患者の薬物療法の安全性・有効性の向上に最も寄与し、医薬分業の中核をなす保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供の状況を把握すると共に医療費の適正化への貢献について明らかにしていくことを目的としています。

調査は、2018年12月12日から2019年1月31日のうち、薬局任意の一週間の処方箋を対象に実施いたします。回答は、管理薬剤師が薬局情報、個々の薬剤師が疑義照会等の情報についてWEBページ (<https://secure.nippon-pa.org/drugprice/>) に示した調査票から選択、入力していただく形式となっています。

なお、各薬局で登録した情報は、東京薬科大学以外のWeb管理者により取りまとめられ、解析を実施する東京薬科大学では各薬局、薬剤師及び患者情報は特定できなくなっています。また、各薬局においては、調査期間中に調査対象となっていることを示す掲示をお願いしますが、その内容は患者に薬を渡すまでに時間がかかることがあることへの理解を促す内容も入れています。

つきましては、ご多用の折にお手を煩わせることになり、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解の上、皆様のご協力を賜りいただけますようお願い申し上げます。

敬具

「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」に関するお願い

【調査の内容についてのお問い合わせ】

東京薬科大学 薬学部 社会薬学研究室

教授 北垣邦彦

Mail :kitagaki@toyaku.ac.jp

お問い合わせは電子メールにてお願いいたします。

回答は、以下の URL にアクセスいただき、ご回答いただけるようお願いいたします。

【開始ページ】

URL <https://secure.nippon-pa.org/drugprice/>

本ページから下記の書類が閲覧、ダウンロードできるようになっています。

- ① 実施概要
- ② 資料「疑義照会調査 患者 IC ポスター」
- ③ WEB 回答の記入例

保険薬局 開設者 様
管理薬剤師 様

東京薬科大学 社会薬学研究室 教授 北垣邦彦

「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」について

この度は、「保険薬局薬剤師の疑義照会及び情報提供に関する調査」の実施方法をご確認いただき、誠にありがとうございます。標題につきまして、ご理解とご協力を賜うことをお願い申し上げます。

また、調査は、下記のとおり実施くださいますようお願いいたします。

1. 研究の目的

患者の薬物療法の安全性・有効性の向上に寄与し、医薬分業の中核をなす保険薬局薬剤師の疑義照会及び「医師に対して行った処方提案、服薬情報等の情報提供」の状況を把握すると共に、医療費の適正化への貢献について明らかにします。

2. 調査期間

2018 年 12 月 12 日から 2019 年 1 月 31 日のうち、任意の 1 週間をご選択ください。

3. 研究調査の流れ

I. 事前準備

- ① 本資料についてスタッフ様への周知
- ② 資料「疑義照会調査 患者 IC ポスター」を薬局内に掲示

II. 調査

期間中に実施した疑義照会や「医師に対して行った処方提案、服薬情報等の情報提供」の内容を報告時にスムーズに取り出せるように保管ください。

例) 対象の処方箋・薬歴・情報提供書などをトレーに分けて保管など

※下記も報告対象に含みます。

処方に変更されなかった例、口頭による情報提供、疑義照会省略可プロトコールによる対応（疑義照会として報告）

III. 報告 2019 年 2 月 20 日（水）までに下記 WEB 調査票にてご回答ください。

- ① 「薬局情報」 回答：管理薬剤師のみ

回答用 WEB : <https://secure.nippon-pa.org/drugprice/>

- ② 「薬剤師情報」「疑義照会・情報提供の内容」 回答：所属薬剤師の皆さま

回答用 WEB : <https://secure.nippon-pa.org/drugprice/>

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

東京薬科大学薬学部 社会薬学研究室 北垣 邦彦 kitagaki@toyaku.ac.jp

以上

おくすり、
まだもらえないの？



薬剤師は、
おくすりを安全に使って
いただくために処方内容を
確認します。

時には、医師に確認するためお時間か
かかることもあります。

当薬局は、医師への処方内容の確認状況に関する調査
に協力しています。 期間 201__年__月__日～__月__日

- ✓ 本調査への協力は自由であり、調査の協力を断ることで不利益が生じることはありません。
- ✓ 収集する情報は医師に確認した処方内容であり、その内容は完全に匿名化され、個人が特定されることはありません。
- ✓ 本調査に関し、ご不明な点、ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

ご理解とご協力をお願いいたします。

☒ お問い合わせ先

☒ 東京薬科大学薬学部 社会薬学研究室 代表 北垣 邦彦
〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 TEL/FAX : 042-676-4882

別添 3

「調査票 2：疑義照会及び情報提供の内容」 (3) 処方変更内容の入力手順

①設定をクリックします。

(3) 処方変更があった場合にその内容についてお教えてください。

処方変更前			処方変更後			差額
薬剤名	1日量	処方日数	薬剤名	1日量	処方日数	
未設定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	未設定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

さらに入力を行う場合はこちら

差額合計:

②検索ワードを入力してリストから薬剤を選択します。

その他 薬価検索

(3) 処方

検索

検索結果 59件 薬品を選択してください

- アムロジピンベシル酸塩2.5mg錠
- アムロジピン錠2.5mg
- アムロジピン錠2.5mg「CHJ」
- アムロジピン錠2.5mg「EMECJ」
- アムロジピン錠2.5mg「FJ」
- アムロジピン錠2.5mg「JGJ」

③1日量と処方日数を入力します。 ※処方変更後も同様の作業で入力します。

(3) 処方変更があった場合にその内容についてお教えてください。

処方変更前			処方変更後			差額
薬剤名	1日量	処方日数	薬剤名	1日量	処方日数	
アムロジピンベシル酸塩2.5mg錠	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="14"/>	アムロジピンベシル酸塩2.5mg錠	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	-138.60

さらに入力を行う場合はこちら

差額合計:-138.60

④追加の際には「さらに入力を行う場合はこちら」をクリックし、①~③を繰り返します。

(3) 処方変更があった場合にその内容についてお教えてください。

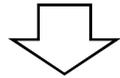
処方変更前			処方変更後			差額
薬剤名	1日量	処方日数	薬剤名	1日量	処方日数	
アムロジピンベシル酸塩2.5mg錠	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="14"/>	アムロジピンベシル酸塩2.5mg錠	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	-138.60

さらに入力を行う場合はこちら

差額合計:-138.60

⑤入力例

薬剤名	変更前	変更後
アムロジピンベシル酸塩 2.5mg 錠	1 錠 14 日分	処方削除
リンデロンV 軟膏 0.12%	15g	処方削除
カロナール錠 200	頓服 1 回 2 錠 10 回分	頓服 1 回 1 錠 10 回分
ラキソベロン内用液 0.75%	60ml	30ml



処方変更前				処方変更後				差額
薬剤名	設定	1日量	処方日数	薬剤名	設定	1日量	処方日数	
アムロジピンベシル酸塩 2.5 mg錠	設定	1	14	- アムロジピンベシル酸塩 2.5 mg錠	設定	0	0	-138.60
リンデロン-V軟膏 0.12%	設定	15	1	- リンデロン-V軟膏 0.12%	設定	0	0	-385.50
カロナール錠 200	設定	2	10	- カロナール錠 200	設定	1	10	-71.00
ラキソベロン内用液 0.75%	設定	60	1	- ラキソベロン内用液 0.75%	設定	30	1	-678.00
さらに入力を行う場合はこちら								差額合計: -1273.10